



日本の農業を切り拓く、農業経営者へ。

# 日本農業経営大学校

## 特別講義

12月の特別講義は2回実施しました。講師には、浅小井農園（滋賀県）代表取締役松村務さんと、鈴盛農園（愛知県）代表鈴木啓之さんに、それぞれお越しいただきました。

松村さんの講義テーマは「小規模雇用型ハウス経営における経営の工夫と人の使い方」でしたが、話は多岐に渡り、ハウス内の環境制御やブランド化、さらにはJGAP、労働環境など多くの学びが凝縮したお話を聞くことができました。特に、人を雇うしていくという面で、労働環境の向上などを意識している学生も多く、大いに参考になりました。

鈴木さんの講義は2年生のみの受講でした。この時期、いよいよ経営計画の策定の大詰めに入る2年生ですが、同時に悩みや迷いも尽きないものです。その中で自



鈴木さんを囲んでの対話の様子



鈴木さん（右から4人目）と学生たち

分自身を支えるものとしての経営理念や mission & vision を今一度振り返ることを目的としました。

前半は鈴木さんが就農するまでの紆余曲折や、就農してからの様々な苦勞をお聞きました。様々な苦勞を乗り越えている根底には「日本の農業をかつこよくする」という鈴木さんの想いが支えになっていることがわかり、学生も改めて自分を見つめ直す時間になったようです。後半は、鈴木さんを囲んで対話を重ねました。年内最後の特別講義でしたが、気持ち新たに新年を迎えられるような講義になりました。

## ゼミ活動

各ゼミでは、学生の興味・関心や担当教員の専門分野に合わせて、さまざまな取り組みをしています。特に、1年生と2年生が一緒になり丸一日かけて活動する「合同ゼミ」には、ゼミの個性が表れます。今回は12月14日の合同ゼミの様子をご紹介します。

原田ゼミは土日を利用して、2泊3日で京都・沖縄の視察へ行きました。初日は京都にある株式会社坂ノ途中を訪問し、小規模生産者や有機農業者に寄り添うような流通の取り組みを伺いました。特に新規就農を目指す3名のゼミ生にとっては貴重な時間となったようです。そしてその日のう



坂ノ途中にて



かんな農園にて

ちに沖縄入りし、株式会社ANACargo、ヤマトグループにご協力頂きながら、那覇空港で深夜の貨物ターミナルを視察し、その後、仮眠を挟んでサザンゲート視察しました。ここでは「保税」というキーワードを学びました。2日目は糸満市でマンゴードを中心に農業を営んでいるかんな農園へ。SNSを上手く使いながら直販を行っている漢那さんから、どのような考えでSNSを使っているのか等をお聞きしました。

藤野ゼミは、10月に開場したばかりの東京都中央卸売市場「豊洲市場」へ視察に行き、青果棟を見学したり、順路に沿って市場の全容を学びました。午後は、お台場にある「森ビルデジタルアートミュージアムエブソンチームラボボードレス」へ。こちらは6月にオープンしたデジタルアート美術館で、アーティストのみならずエンジニアや数学者、建築家なども参画するアート集団・チームラボによる体験型のアート



日本農業経営大学校

Japan Institute of Agricultural Management

※本誌の無断転用・転載を禁止します。

[発行人] 一般社団法人アグリフューチャー・ジャパン

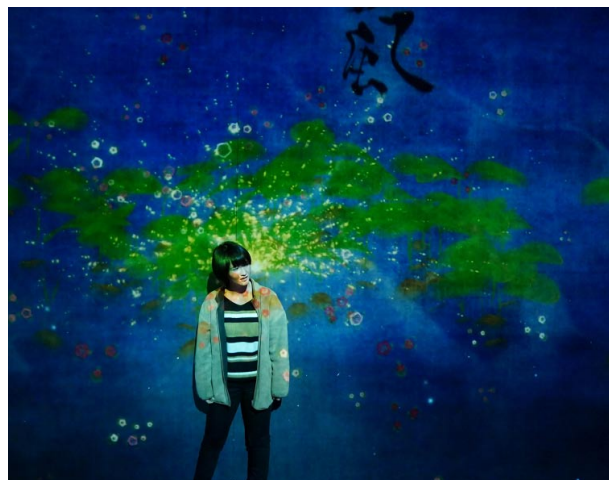
〒108-0075 東京都港区港南2-10-13 農林中央金庫品川研修センター5階

TEL：03-5781-3750 FAX：03-5781-3752



日本の農業を切り拓く、農業経営者へ。

# 日本農業経営大学校



チームラボ ボーダレスにて

が展示されています。学生たちは、みずからがアートに溶け込むような不思議な体験をしたようです。

学外へ飛び出した2ゼミとは対照的に、小野ゼミは学校のいつもの教室で、消費者グループインタビュー「子育て中の女性に聞く「ふだんの暮らしと食と農」」を行いました。午前と午後、それぞれ3名のモニターの方にお越しいただき、お茶の飲み比べを体験していただいたり、ふだんどんなサラダを食べているか、いつもどんな店で買い物をしているか、それはなぜかなど、学生からのさまざまな質問に答えていただきました。学生からは、「農産物の食べ手の方も、一人ひとりこんなに違うんだ」、「知らなかった食べ方を知れた」などの声が上がりました。モニターの方からも「聞いてもらって答える



グループインタビュー中の様子

もありです。今後も本校らしい特色あるゼミ活動をおこなっていきたいと思いますので、ぜひフォロー・応援いただければ幸いです。(※URLは下段に記載)

## 会員交流会

12月6日、会員交流会を実施しました。本校は約260社の会員からご支援をいただいております。毎年、学生と会員との交流を図ることを目的に、活動発表会や懇親会を行っています。今年は、会員、在校生、卒業生、当法人の理事および審議委員を合わせて100名近くの方々にご参加いただきました。

活動発表会では、1年生1名が農業実習報告、2年生1名が企業実習報告、卒業生2名が営農状況を報告しました。卒業生のリアルな現場の話聞き、在校生は卒業後の自分の姿と重ね合わせ、私たち教職員は成長している様子に感心しきりでした。

た。その後開催された懇親会では、学生たちは名刺片手に会員や卒業生と積極的に交流している姿が印象的でした。このような場は大切な自己アピールの場でもあります。このつながりを今後も活かしてほしいと願います。

- ・原田ゼミ Instagram  
haradaseminar2018
- ・小野ゼミ ホームページ (下記 QR コード右) :  
<https://onozemijam.wixsite.com/onozemi>
- ・小野ゼミ facebook ページ (下記 QR コード左) :  
<https://www.facebook.com/日本農業経営大学校-小野ゼミ-1810904752479150/>



日本農業経営大学校

Japan Institute of Agricultural Management

※本誌の無断転用・転載を禁止します。

[発行人] 一般社団法人アグリフューチャー・ジャパン

〒108-0075 東京都港区港南 2-10-13 農林中央金庫品川研修センター 5 階

TEL : 03-5781-3750 FAX : 03-5781-3752